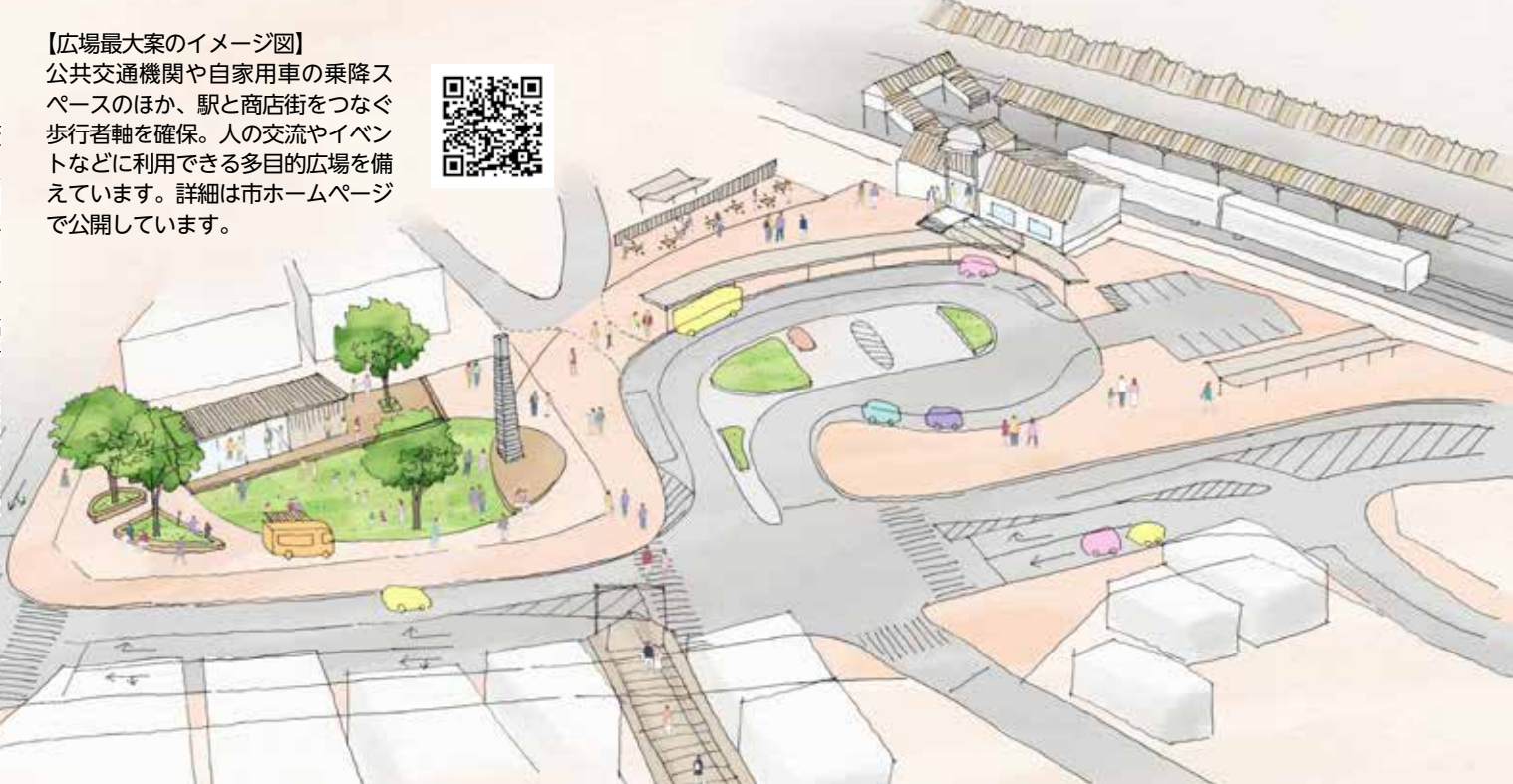


【広場最大案のイメージ図】
 公共交通機関や自家用車の乗降スペースのほか、駅と商店街をつなぐ歩行者軸を確保。人の交流やイベントなどに利用できる多目的広場を備えています。詳細は市ホームページで公開しています。



田川後藤寺駅前における交通結節機能強化や中心市街地にふさわしい空間づくり・賑わい創出に向けた検討を進めるため、市は令和2年11月に「後藤寺駅前整備基本計画策定会議」のほか2つの専門部会を設立。同会議・部会を構成する地域住民や学識経験者などが検討を進めてきました。意見抽出や基本コンセプト・整備図案の作成・審議・修正などさまざまな作業を経て、理想像である「後藤寺駅前整備基本構想」を策定。3月18日に開いた第5回策定会議において、高尾忠志策定会議会長が市長に報告しました（左写真①）。



ともに描いた 後藤寺の未来

後藤寺駅前整備基本構想を市に提出

同構想には、検討経過や子どもたちの意見などのほか、利便性や安全性、居心地の良さなどを兼ね備えた理想の駅前整備像が描かれています。また、今後も実現性の検討が続くことを想定して「広場最小案」と「広場最大案（上記イメージ図）」の2案が示されています。市は今後、整備着手条件（財政的な担保・地権者の協力・県道整備に対する協力）を踏まえて同構想の実現性について調査するとともに、関係機関との協議を進め、実現可能な「後藤寺駅前整備基本計画」を市として作成する予定です。

